



# 給食だより

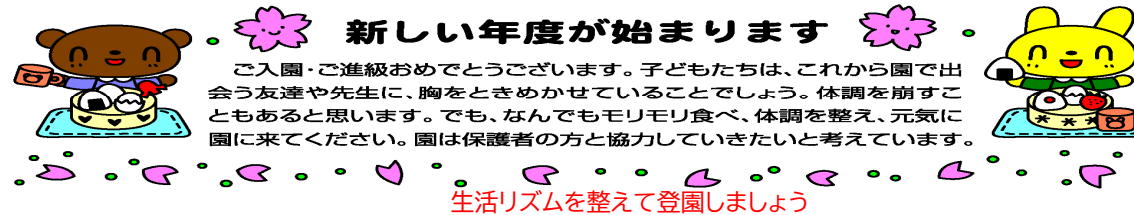
# 4

令和4年3月31日  
城北アソカ保育園

今月のテーマ 食前・食後のことばを唱和しておいしくいただきます。  
今月の目標 保育園の給食に慣れ、楽しい雰囲気食べる。

日	曜	こんだて	おやつ	未満児朝のおやつ
1	金	からあげ サラダ かぼちゃスープ	米粉のマドレーヌ	黒棒
2	土	たまごサンド スープ くだもの		
4	月	カレー カミカミサラダ	おふのラスク	いちご
5	火	ぶたじる なつとう	コーンフレーク・バナナ	チーズ
6	水	さかなのクリームコーンやき すみそあえ わかたけじる	さつまいもケーキ	フルーチェ
7	木	とりのみそづけやき ポテトサラダ ごまあえ	カルピスゼリー	丸ぼうろ
8	金	さかなのあんかけ ナムル	オートミールクッキー	かりんとう
9	土	やきうどん くだもの		
11	月	にくじゃが ツナサラダ	だいなごんケーキ	オレンジ
12	火	のっぺじる なたねあえ	おからスティック・りんご	米せんべい
13	水	チキンのトマトに いそあえ	おきなわふうくずもち	ビスコ
14	木	キッシュふうオムレツ きりぼしのにももの	たけのこごはん	ゼリー
15	金	さかなのにつけ とうふのすましじる	ヨーグルト・ビスケット	シュガートースト
16	土	ビビンバどん スープ くだもの		
18	月	シチュー すりみのかきあげ	フルーツしらたま	カステラ
19	火	さばのたつたあげ マセドアンサラダ わかめスープ	じゃこトースト	バナナ
20	水	はっぼうさい ひじきに	にまめ	ウエハース
21	木	🎂誕生会🎂なのはなごはん チキンカツ ナポリタン みそじる	おたのしみ	卵ボーロ
22	金	👩🍳遠足*手作りお弁当*👩🍳	おかし	チーズ
23	土	ミートスパゲティ スープ くだもの		
25	月	すきやきふうに のり ひじきサラダ	カスタードクリームあえ	ビスケット
26	火	さかなのタルタルソース ワンタンスープ	ウィンナーパン	りんご
27	水	とうにゆうこそでだんごじる ざぜんまめ	スイートポテト	コーンフレーク
28	木	さかなのカレーピカタ フレンチサラダ コーンスープ	ぎゅうにゆうもち	チーズトースト
29	金	昭和の日		
30	土	ポトフ パン くだもの		

21日は誕生会なのでご飯はいりません。お箸と水筒は持たせてください。土曜日は箸と水筒だけ持ってきてください。献立は変更になる場合があります。



## 新しい年度が始まります

ご入園・ご進級おめでとうございます。子どもたちは、これから園で出会う友達や先生に、胸をときめかせていることでしょう。体調を崩すこともあると思います。でも、なんでもモリモリ食べ、体調を整え、元気に園に来てください。園は保護者の方と協力していきたいと考えています。

生活リズムを整えて登園しましょう

『早寝、早起き、朝ごはん』はできていますか？規則正しい生活リズムを作ることで脳の動きが活発になり、五感で受けた刺激を脳が処理して様々な事を学んで成長していきます。睡眠不足だと脳は働きません。毎日を生き生きと過ごしていくためにも、しっかり睡眠をとりましょう！！



## 知っておこう！子どもの睡眠

子どもたちの就寝時間が、とても遅くなっています。睡眠のリズムが狂うと、生活全般のリズムが狂い、子どもの成長や健康に悪影響を及ぼす心配があります。子どもの健康を守るためにも、ご家族全員で生活を見直してみてください。



## 夜更かしがいけない5つのワケ

- ★ 睡眠不足になる**  
 睡眠時間は同じでも、早寝早起きをしたときと、夜更かしをしたときでは、睡眠の質が異なります。遅く寝ると睡眠不足の状態になり、遅く起きたり、疲労をさせたりしても、不足分は補えません。質のよい睡眠をとり、朝の光を十分に浴びることが必要です。
- ★ 感情コントロールが困難になる**  
 慢性的な時差ボケ状態が続き、昼の活動が十分に行われないと、日中の運動量も減少してしまいます。すると、セロトニン(脳の神経活動のバランスを維持する神経伝達物質)の分泌が減少し、イライラしたり攻撃的になるなど、感情のコントロールが困難になってきます。
- ★ 生体リズムが乱れ、時差ぼけ状態に**  
 朝の光を浴びて、リズムを整えないと、生体リズムはどんどん後ろにずれて、時差ボケと同じ状態になります。疲れやすくなったり、食欲や集中力が低下し、日中ぼーっとしてしまうのです。
- ★ 食生活が乱れる**  
 遅くまで起きていると、朝食坊になり、朝食をとる時間がなくなります。深夜にも食を食べる機会も多くなり、食生活が乱れ、体調不良を起こしやすく、肥満の原因にもなります。
- ★ メラトニンの分泌が不足し、眠りにくくなる**  
 メラトニンは、体を守る抗酸化作用を持つホルモン。寝気を促すリズム調整作用もあると考えられています。メラトニンは、夜、暗くなると分泌が増えますが、夜更かしをするなど、いつも明るい所にいる状態になるため、分泌が抑えられてしまいます。その結果、ますます夜、眠りにくく、朝、起きにくくなるという悪循環に陥ります。